

健康通信

市民病院より

問合先 市民病院 (☎76・4131)

神経内科について



▲神経内科部長 千田 譲

平成26年10月付で小牧市民病院に神経内科常勤医として着任いたしました。

長い間小牧市民病院の神経内科は、名古屋大学病院から非常勤の医師が週3回交代で対応してききましたが、病院内外での神経内科に対するニーズは大きくなっていることから、今回常設の運びとなりました。

神経内科とは

神経内科は内科の中のひとつの分野で、脳や脊髄、神経、筋肉の病気を診ます。神経内科と間違えられる診療科に、心療内科・精神神経科・神経科などがありますが、これらはまとめて精神科であり、おもに精神的な原因による、うつなどの気分の変化や身体的な症状を扱う科です。



体の動きや感覚がおかしかったり、言葉や記憶がおかしくなったときに神経内科の病気を疑います。よくみられる症状には、手足の力が入らない、歩きにくい、ふらつく、頭痛、めまい、しびれ感、ふるえ、呂律が回らない・あるいは食べ物などでむせる、筋肉のつばりや痛み、ものが二重に見える、もの忘れなどがあります。神経内科ではこのような症状に対して、全身を診ることにより診断していきます。具体的な病名として、脳梗塞やアルツハイマー病などの認知症、末梢神経障害などを対象としています。

神経内科が扱う病気には、高血圧・不整脈・内分泌(ホルモン)異常・糖尿病・膠原病など、内科の他の分野が原因で起こってくるものも多くあります。また骨や筋肉などの整形外科分野の病気が原因で起こってくるものもあります。神経

内科では症状だけでなく、これらの原因となる病気の一般的な治療も一緒に行なわれます。



▲神経内科では、聴診器だけでなく打鍵器や音叉、握力計や知覚計(歯車のついたもの)などを使用して診察します。

今後の小牧市民病院神経内科について

現在、小牧市民病院では神経内科の常勤医はまだ1名のみであり、残念ながら対応できる患者さんの数には限界があります。このため、特に入院治療を必要とする脳卒中などについては、神経内科だけでなく、当院の脳神経外科・一般内科・救命救急センター・リハビリテーション科と共同で診察・治療にあたります。

また小牧市がある尾張北部は、愛知県内でも神経内科専門医が極めて少ない地域であり、このため当

院の神経内科外来は大変混雑しています。

神経内科受診を希望されるときは、お近くの開業医・クリニックなどの「かかりつけ医」に紹介状(診療情報提供書)を作成していただき、そこで当院への受診予約をしてください。神経内科では、問診として、患者さんや付き添いのご家族からのお話を詳しく伺うことで、おおよその病気の診断が付くことが多くあります。また全身の診察を丁寧に行う必要があるため、どうしても患者さんお一人毎に時間が必要となります。このため受診予約を前もっていただくようお願いをしています。

また症状が安定した患者さんは、再び「かかりつけ医」に戻っていただきます(「逆紹介」といいます)。なお患者さんの病状によって、急に発症したもので重症であるものは、救命救急センターなどで直ちに対応します。

神経内科専門「医診察を希望される患者さんは大変多くなってきました。そのような患者さんが安心して診察を受けていただけるよう、地域の皆様のご理解とご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。